

# 令和2年度秋期 災害対策専門研修

マネジメントコース：ベーシック

主担当：主任研究員 木作 尚子

時間\日付	9月29日(火)	9月30日(水)	10月1日(木)
9時25分		オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1 限 (センター展示見学・希望者のみ)	地震・津波への備えと対応 清野 純史 人と防災未来センター上級研究員 (京都大学大学院工学研究科教授) ・地震・津波の発生メカニズムと、それによる物理的・社会的被害を理解し、自治体の対応を考える。	都市の復興概論 小林 郁雄 人と防災未来センター上級研究員 (兵庫県立大学 特任教授) ・阪神・淡路大震災の被災地などの復興過程について、様々な取り組みを学ぶ。
11時00分～12時15分	2 限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 木作 尚子 人と防災未来センター主任研究員	災害対応と危機管理総論 木村 玲欧 人と防災未来センター環境人間学大学院環境人間学研究科教授 ・災害対応・危機管理の基本的な考え方について概要を学ぶ。	行政における災害対応業務の実態 後藤 武志 飯田市危機管理室 次長補佐兼防災係長 ・大規模災害における行政対応の経験や、地域に向けての防災・減災活動の経験について学び、災害対応業務の実態について学ぶ。
13時15分～14時30分	3 限 被災者対応総論 重川 希志依 常葉大学大学院環境防災研究科教授 ・災害時に行政が対応すべき被災者支援業務の内容とその流れについて理解する。	災害と男女共同参画 斉藤 容子 人と防災未来センターリサーチフェロー(関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員・准教授) ・災害時における男女共同参画の視点をこれまでの事例を踏まえて理解を深める。	ふりかえりワーク 木作 尚子 人と防災未来センター主任研究員 ・参加者の意見交換から、災害対応における姿勢を学ぶ。
14時45分～16時00分	4 限 風水害への備えと対応 河野 俊一 神戸地方気象台 地域防災官 ・風水害の発生過程とその被害を理解し、自治体の具体的対応(警報・避難等)を学ぶ。	災害関連法体系基礎 山崎 栄一 関西大学社会安全学部教授 ・災害対策基本法・災害救助法の守備範囲を理解する。	
16時15分～17時30分	5 限 地域防災計画論 今石 佳太 人と防災未来センターdisasterManager 益城町 危機管理監 ・地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を理解する。	災害史と社会 福和 伸夫 人と防災未来センター上級研究員 (名古屋大学 減災連携研究センター長・教授) ・過去の震災が歴史に与えた影響を学びつつ、現代の都市と社会の分析をおととして、その脆弱性と災害像を予測し、備えの方法を考える。	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
～17時45分	レポートタイム		

# 令和2年度秋期 災害対策専門研修

マネジメントコース：エキスパートA

主担当：主任研究員 佐藤 史弥

時間\日付	10月6日(火)	10月7日(水)	10月8日(木)	10月9日(金)
9時25分		オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	市民社会ワークショップ 立木 茂雄 人と防災未来センター 上級研究員 (同志社大学社会学部 教授) 山本 康史 ハロ・ボランティア・ネットワークみえ代表 平野 昌 ハロ・ボランティア・ネットワークみえ事務局 ・災害時の被災社会の対応において、ボランティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政との関係のあり方について理解を深める	災害対応各論(広域連携) 阪本 真由美 人と防災未来センター リサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授) ・災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める	災害対応各論(行政と自衛隊との連携) 渡邊 勲 福島県防災専門監 ・行政と自衛隊の連携について理解を深める	危険対応時の組織論(戦略的な広報について) 川西 勝 人と防災未来センター リサーチフェロー (読売新聞大阪本社編集局編集委員) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ
11時00分～12時15分	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 佐藤 史弥 人と防災未来センター 主任研究員	災害対応各論(災害時の物流対応) 興村 徹 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会(JLLS)JLLS総合研究所 副所長 ・災害直後から被災者の生活支援のための物流対応について、自治体担当部署のみならず民間運送会社などの能力も活用した実践的な事例を学ぶ	災害対応各論(民間企業と連携した災害対応) 水谷 嘉浩 Jリックス株式会社 代表取締役 全国段ボール工業組合連合会 防災担当アドバイザー ・民間企業と連携した平時時の減災対策や災害時の応急対策について、取り組み事例に基づき学ぶ	災害対応各論(被災者救護の実践的取り組み) 三上 晴由貴 新潟県総務管理都市町村課 財政班 行政調査員 ・災害救助法適用事例等から、法に定める応急救助の具体的な内容と、被災自治体に対する財政措置について理解を深める。
13時15分～14時30分	災害過程総論<1h/>～14:15> 河田 慈人 人と防災未来センター 研究員 ・災害発生後の3つのフェーズ(初動期、応急期、復旧期)を理解し、各フェーズに必要な見通しを持った災害対応業務について学ぶ	災害対応各論(医療活動) 甲斐 遼朗 人と防災未来センター 上級研究員 (済生会千里病院 千里救命救急センター 顧問) ・災害現場の医療活動体制について理解を深める	災害対応ワークショップ 木作 尚子 人と防災未来センター 主任研究員 ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける	全体振りかえりワーク 佐藤 史弥 人と防災未来センター 主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
14時45分～16時00分	<1.5h/14:30～> 災害対応概論(初動期・応急期) 古越 武彦 人と防災未来センター リサーチフェロー (長野県危機管理部危機管理防災課防災係長) ・実災害をケーススタディとして、初動期・応急期における目標管理型の災害対応の重要性や、関係機関との連携、受援体制構築の必要性を学ぶ	災害対応時の組織論(情報システム) 佐藤 翔輔 東北大学災害科学国際研究所 准教授 ・災害発生前後の情報収集・整理と共有化の重要性を理解し、情報システムの活用方策を学ぶ		
16時15分～17時30分	災害対応概論(復旧期・復興期) 澤田 雅浩 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授 ・復旧・復興期の対応について、過去の実践事例などを紹介しながら、初動期、応急期の対応との関係、復旧・復興プロセスへ与える影響などについて学ぶ	災害対応演習(クイズ演習) 寅屋敷 哲也 人と防災未来センター 主任研究員 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ		16:00～16:40 レポータータイム 16:40～16:55 閉講式
～17時45分	レポータータイム	レポータータイム	レポータータイム	

令和2年度秋期 災害対策専門研修  
マネジメントコース:エキスパートB

主担当：研究員 高岡 誠子

時間\日付	10月13日(火)	10月14日(水)	10月15日(木)	10月16日(金)
	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
9時25分				
09時30分～10時45分	1 限 (センター展示見学：希望者のみ)	標準的な災害対応システム論 牧 紀男 人と防災未来センター震災資料研究主幹 (京都大学防災研究所教授) ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について学ぶ	業務継続マネジメント論 紅谷 昇平 人と防災未来センターリサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授) ・各公共機関における災害時の業務継続の重要性について、また、その方法について、具体的な事例を交えて理解する	被災者行政の流れと課題 菅野 拓 人と防災未来センターリサーチフェロー (京都経済短期大学経営情報学科 専任講師) ・被災者の生活再建を見据えた行政業務の一連の流れと課題について、初期段階での留意点やマネジメントについて学ぶ
11時00分～12時15分	2 限 高岡 誠子 人と防災未来センター研究員	図上訓練設計 藤原 宏之 人と防災未来センター リサーチフェロー (伊勢市危機管理部危機管理課 主事) ・行政職員に向けての図上訓練をどのように設計すればよいか、具体的事例を交えつつ学ぶ	災害時の健康危機管理 高岡 誠子 人と防災未来センター研究員 ・被災住民の健康危機管理に対する行政の支援について理解を深める	NGO/NPOの災害対応と協働 明城 徹也 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) 事務局長 菅野 拓 人と防災未来センターリサーチフェロー (京都経済短期大学経営情報学科 専任講師) ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ
13時15分～14時30分	3 限 立木 茂雄 人と防災未来センター 上級研究員 (同志社大学社会学部 教授) ・災害時要配慮者の実態とそれを踏まえた対応について学ぶ	避難の実態と課題 宇田川 真之 人と防災未来センターリサーチフェロー (国立研究開発法人防災科学技術研究所 主幹研究員) ・多様な災害種別や状況によって異なる避難行動の在り方や、避難情報の発信・伝達・内容などについて学ぶ	災害時のメディア対応 木戸 崇之 人と防災未来センターリサーチフェロー (株)エーピーシー・リブラ 専任マネージャー) ・メディアに振り回され、災害対応を複雑化させる手段を活用して、被災者と職員の状態を好転させる情報の発信方法を学ぶ	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する
14時45分～16時00分	4 限 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト取締役 マネージャー・主席コンサルタント ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する	ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ 矢守 克也 人と防災未来センター上級研究員 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター・教授) ・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	災害時のこころのケア 大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 研究主幹 ・災害発生初期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて学ぶ	全体振りかえりワーク 高岡 誠子 人と防災未来センター研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5 限		災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 関西国際大学 特命教授 (元兵庫県防災監) ・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意思交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
～17時45分		レポートタイム	レポートタイム	

(9:30～ センター展示見学：希望者のみ)

10:30～10:45 閉講式  
10:45～11:05 オリエンテーション

高原 耕平  
人と防災未来センター 主任研究員

11:15～12:25 70分  
目標管理型災害対応論

高原 耕平  
人と防災未来センター 主任研究員  
・目標管理型災害対応の考え方やその具体的内容について、過去の災害事例を踏まえ理解する。

休憩

13:30～15:00 90分

危機対応組織論

河田 恵昭

人と防災未来センター センター長  
・危機対応をする上で首長を補佐する職にある人が必要とする能力について理解する。

15:10～15:15 グループ内自己紹介

15:15～17:30 135分 (途中休憩を含む)

行政対応特論①

齋藤 富雄

関西国際大学 特命教授

(元兵庫県防災監)

・県における大規模災害時の対応事例を知り、災害発生後の対応や課題と首長に助言すべき内容を学ぶ。講義は討論形式で行う。

17:30～17:45 レポートタイム

9:30～11:00 90分

行政対応特論②

梅本 定雄

高槻市副市長

・市町村における災害対応事例から課題や教訓や教訓を学ぶ。

11:15～12:30 75分

災害対応特論

室崎 益輝

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科長

・災害の状況に応じて既存法制度の限界部分、対応策についての指示、判断ができるようになるための考えを深める。講義は討論形式で行う。

13:30～16:00 150分 (途中休憩あり)

災害対応検討ワークショップ

・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける。

室崎 益輝

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科長

高原 耕平

人と防災未来センター 主任研究員

高岡 誠子

人と防災未来センター 研究員

16:00～16:15 レポートタイム

16:15～16:30 閉講式